

# 公認心理師養成校数が議員連盟総会で明らかに 153校（うち、大学院のみ18校、学部のみ49校）

2019年6月20日（木）10時から、「心理職の国家資格化を推進する議員連盟」の総会が、参議院会館1階講堂で開催され、河村建夫会長、鴨下一郎会長代行、加藤勝信幹事長、山下貴司事務局長、ほか議連メンバーの国会議員の先生方が出席した。本連盟役員関係者も3名が出席し、会議を見守った。

会議では、名称変更が提案され、新しい議連の名称は、「国民のための公認心理師制度を推進する議員連盟」となった（助詞等の変更はあり得る）。次に、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部の橋本泰宏部長より、公認心理師の概要及び第1回公認心理師試験の実施状況等について、

資料が提示されながら説明された。また、文部科学省からは、「現時点での養成校は153校、うち大学院のみが18校、学部のみが49校」との報告があった。

出席した関係団体は、本連盟のほか、一般財団法人心理研修センター、一般社団法人日本公認心理師協会、公認心理師制度推進連盟、一般社団法人日本臨床心理士会、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会、日本臨床心理士養成大学院協議会、一般社団法人日本心理学諸学会連合、精神科七者懇談会等で、各団体から公認心理師の制度推進に前向きな発言がなされた。

## 公認心理師養成機関連盟／一般社団法人日本公認心理師養成機関連盟 総会のご案内

第2回（2019年度）公認心理師養成機関連盟と第1回（2019年度）一般社団法人日本公認心理師養成機関連盟の総会を、下記の通り、同日に併せて開催します。会員の皆様には宜しくご参集いただきますようお願い申し上げます。

期 日： 2019年7月21日（日）13:00～14:45

場 所： 跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館1階ブロッサムホール（東京都文京区大塚1-5-2）

当日、本連盟編集の「公認心理師養成実習ガイド」（こころの科学増刊号、日本評論社、7月発行）が、本体価格1,600円（税込1,728円）のところ、1,500円で販売されます。

## 「設立記念式典」及び「記念講演」のご案内

本連盟の法人化を記念する行事を、下記の通り開催いたします。記念式典及び記念講演は、公認心理師養成に何らかのかかわりのある方であればどなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

### 一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟 設立記念式典並びに記念講演

期 日： 2019年7月21日（日）

15:00～15:20 式典 15:30～16:30 記念講演

会 場： 跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館1階ブロッサムホール（東京都文京区大塚1-5-2）

丸ノ内線 茗荷谷駅より徒歩2分 ※ 直接会場にお越しください

= 記念講演の内容について =

演 題： 公認心理師養成への期待—医学教育改革の歴史と課題を踏まえて

講 師： 北村 聖 先生（公益社団法人地域医療振興協会 地域医療研究所 シニアアドバイザー）

ご略歴）東京大学医学教育国際協力研究センター教授、東京大学医学部附属病院総合研修センター長、国際医療福祉大学医学部長を経て、現在、公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所シニアアドバイザー、日本医学教育学会理事

内容紹介： 北村聖先生はこれまで医学教育の改革を牽引してこられ、アウトカム基盤型教育（学習成果基盤型教育）、モデルコアカリキュラム、アクティブラーニング、診療参加型臨床実習、客観的臨床能力試験（OSCE）といった実践家養成の教育について深いご造詣をお持ちです。また、公認心理師カリキュラム等検討会では、座長として、カリキュラムのとりまとめにご尽力をいただきました。公認心理師養成に取り組む私たちにとって、貴重なお話をうかがえる機会になると思います。

〈日本心理臨床学会企画シンポジウム〉

開催報告

公認心理師養成における『心理実践実習』と『心理実習』の実際  
—養成機関と関係団体、心理臨床現場とのコラボレーション—  
2019年6月8日(土) 13~15時 メインホール

日本心理臨床学会第38回大会において、公認心理師養成に関する実習に関するシンポジウムが開催された。

シンポジストの島田隆夫先生(厚生労働省公認心理師制度推進室 公認心理師専門官)からは、制度の概要に加え、実習に関する申請における留意点、そして心理実践実習における「担当ケース」の考え方について説明があった。また、田崎博一先生(弘前愛成会病院 院長)からは、学部卒業者の実務経験を引き受ける医療機関として、2名が心理職として勤務し、実務を経験しながら研修を行っている経過が報告された。石川到覚先生(日本ソーシャルワーク教育学校連盟 相談役、大正大学 名誉教授)からは、社会福祉士や精神保健福祉士の実習のあり方についての紹介があり、実習指導に用いるマニュアル、実習記録ノートの作成、実習内容の達成度の評価、評価基準の明確化、実習巡回計画書の提出等、いま公認心理師が直面している課題が、ソーシャルワーク領域でも検討されていることがわかった。

本連盟理事の元永拓郎先生(帝京大学)からは、公認心理師教育を開始して課題となっていることや、学部のカリキュラムにある「心理演習」「心理実習」と大学院科目である「心理実践実習」との関係について、心理専門職の職業的発達からみた評価基準をどのように設定するかなどが示された。指定討論者の鶴光代先生(公認心理師養成機関連盟会長)からは、実習における「担当ケース」の位置づけについて質問があり、島田先生の発表の内容をふまえ、「主体的にかつ計画的に」担当ケースを設定し、ケース理解を深め支援計画を検討し、実習指導者等の指導も受けながらそれを事前・事後学習で深める体験は、公認心理師養成のための実習体験として意義深いということが確認された。

〈日本心理臨床学会・公認心理師養成機関連盟 合同ワークショップ〉

開催報告

大学・大学院における公認心理師教育への対応と工夫  
2019年6月9日(日) 13~16時 メインホール

日本心理臨床学会と本連盟との合同ワークショップが開催され、100名を超える人が熱心に参加した。このワークショップには日本心理臨床学会会員や公認心理師養成機関連盟会員校関係者が参加可能であり、「担当ケース」を通してどのように学習成果を出していくかが議論された。

第I部では、公認心理師教育の全体像や課題等が提示された後に、実際に実習をどのように展開し、どのような課題が生じているかが示された。

第II部前半では、実習機関の状況や課題等が報告された。休憩後の後半では、本連盟の実習検討チームが作成を進めている大学・大学院の「実習の手引き」をもとに、実習の進め方の実際について具体的な紹介がなされた。大学については、心理演習から心理実習への展開について、大学の心理実習科目の法令上とカリキュラム上の位置づけをも含めて検討した上で、「学習目標」「授業の概要」「実習内容、施設訪問実習」「実習記録について」「実習に当たっての留意点」などが論じられた。大学院については、現在実施されている心理実践実習の内容例や具体的な進め方等が示された。

「実習の手引き(中間報告版)」の配布

第2回研修会(2019年2月24日開催・京都)で配布した本連盟実習検討チーム作成の「実習の手引き(中間報告版)」を、PDFファイルで配布しています(会員のみ)。

希望される会員は、会員種別をお書き添えの上、ホームページの「お問合せ」フォームよりお申し込みください。

日本公認心理師協会 入会手続き中

<http://jacpp.or.jp/>

一般社団法人日本公認心理師協会(JACPP)は、これまでの臨床心理士等の心理職の実績や経験を活かした公認心理師の職能団体で、本連盟の団体賛助会員でもあります。入会手続きは、協会ホームページから行えます。

2019年9月末日までの入会の場合、入会金1万円が全額無料です。ぜひご入会ください。

公認心理師の養成機関・職能団体  
ご入会受け付け中

7月5日現在、正会員は126校となり、全養成校の8割を超えました。また、個人賛助会員は38名、団体賛助会員は7団体です。引き続き、公認心理師養成を行っている大学・大学院の正会員、団体賛助会員、個人賛助会員のご入会を受け付けています。ホームページの「入会申込」フォームからお手続きください。

一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-2-14-414

E-mail: [kouninshinrishikou@yahoo.co.jp](mailto:kouninshinrishikou@yahoo.co.jp)

<https://psychologyteacher.jimdo.com/>

※ お問合せは連盟ホームページの「お問合せ」フォームからお願い致します(メールアドレスの記載間違いがあると、返信メールが届きませんのでご注意ください)。